

「東お多福山ススキの草原復元」活動報告

2017/7/19・2017/11/25・2017/12/9

森脇肇子

1) 2017年7月19日(水) 9:00~15:00

実施項目：①方形区内のササの選択的刈り取り

- ・ 調査区3, 5, 6 および登山道沿いの草原生植物周辺の壺刈り
 - 最初は登山道沿いの草原生植物周辺の壺刈りをしてしながら調査区3に向かい、調査が終了したら作業をする

②植生調査

- ・ コドラートNo.3, 5, 6 の植物相調査・植生調査を行う

③特別保護区の「活動地の拡張」および道具箱設置

- ・ 刈り取り機で特別保護区刈り取り面積を拡大する

JAC 参加者：斧田一陽、田島聖子、森脇肇子（4名）

参加者約40名が3グループに分かれ、①②③の作業を行った。JACのメンバーの内、2名(大津・田島・森脇)は①の作業に参加し、1名(斧田)は他の協働活動団体2名と共に登山道の水切り作業を行った。この日の天候は良好で、朝から蒸し暑い中での作業だった。登山道での作業は木影があり、時折吹く風やメンバーの存在が救いとなって何とか最後まで勤められたといった感じだった。



希少な草原生植物に注意しながら登山道での手刈り



登山道に水が入り込まないために水切り作業をする

2) 2017年11月25日(土) 9:00~14:30



- 実施項目:** ① 全面刈り
② ススキの回収

JAC参加者: 斧田一陽、田島聖子、茂木完治、森脇肇子(4名)

作業内容:

参加者約60名が広い草原の中で2班に分かれ、150センチほどのススキを選んで手刈りする人と、それを集めて回収する人とは分かれて作業した。ススキの収穫作業は1時間弱で終了、その後それぞれの班は、刈り払い機数台で

の刈り取り後の残骸の集積作業を行った。今回は全面刈りなので、決められた範囲内はネザサ以外の全ての植物も刈り取られた。

この日は天気も穏やかで、紅葉を背景に気持ちのいい環境であった。土曜日の開催のおかげで多数の参加者があり、広範囲の刈り取りがなされた。小職は活動に参加して3年目であるが、ススキ収穫の度にあちこちでススキが太く高く育っている姿をよく目にするようになってきている。今回も良質なススキが多く収穫されたようで、嬉しく達成感のある一日だった。



左から田島 斧田 森脇 茂木

3) 2017年12月9日(土) 9:00~14:30



実施項目: ① 全面刈り

JAC参加者: 斧田一陽、田島聖子、森脇肇子 (3名)

作業内容:

参加者約60名が広い草原の中で2班に分かれ、大半の人が手刈りをしながら、刈り払い機2台での刈り取り後の残骸集積作業を行った。今回も前回と同様全面刈りなので、決められた範囲内はネザサ以外の全ての植物も刈り取られた。

この日は前夜からの積雪があり、交通機関が乱れたため、開始は約一時間遅れの10:00過ぎとなった。

聞くと雪の中での作業は、活動が始まって以来、10年間で初めてのこと。いつもの草原は作業終了まで積雪が残っていた場所もあり、体を動かしていないと手足がかじかんでしまうほど冷え込んでいた。それにしても、かまやハサミで雪と植物を一緒に手刈りするなんて…。刈り取り機で作業されている方は、途中で何度も雪を取り除かれている。こんな調子で最後まで務まるのか不安だった。しかし終わってみると、いつものように広範囲が綺麗に刈り取られていた。改めてこの活動メンバーの一員でよかったと、いつもとは違う温かい気持ちになっていた。

